

視察先の概要（ドイツ・ボンおよびフランクフルト中心に）

1. BVR（ドイツフォルクスバンク・ライファイゼンバンク協会）

（協同組合銀行グループの利益を代表し、グループの戦略の構築、会員の経営問題等への助言、役職員教育を行っている。また、経営再建を支援する機関保護制度がある）

- 協同組合の事業と理念
- 国際協同組合年における取組

2. R+V グループ協同組合保険

（農業協同組合の保険からはじまり、現在ではドイツでも有数の保険グループである）

- グループにおける教育理念
- 役員、職員教育の実態

3. ドイツ協同組合アカデミー

（協同組合銀行グループの全国段階の教育機関。14週に及ぶ役員候補の研修を実施している）

- アカデミーにおける教育理念
- 役員候補者に対する教育活動の実態

4. 地域アカデミー

（協同組合銀行グループの地方段階の教育機関。中間管理職までの教育を担っている。ドイツに6つある）。

- 地域アカデミーにおける教育活動の実態
- ローカルバンクとの関係

4-2. ローカルバンク（兼営事業 かつライファイゼンが活躍した場所に近いところ）

- 兼営事業の実態と経営構造
- 組合員教育への取り組み

5. マールブルグ大学

（古都マールブルグにある大学。協同組合研究が盛んであり、ミュンクナー教授は日本との交流が深い。）

- ドイツの大学における協同組合研究の動向
- 国際協同組合年における取組（大学・学会）
- 大学と協同組合との連絡・提携
- 他業態との競争が激化するなかで今後の協同組合のあり方